

■ わが社の使命と夢 ■

“ そうだ！フィガロに聞いてみよう!! ”

フィガロ技研株式会社
代表取締役社長

天本 太郎 氏

ベンチャー企業でスタート

社名のフィガロ技研はどこかで聞き覚えがある人も多いはず。それはロッシーニの歌劇「セビリアの理髪師」の主人公、何でも屋のフィガロからきているからだ。同社はいまもフィガロが持っていたようなベンチャー精神を大事にしている。

発明家を任じていた田口尚義氏はかつて山中湖でのプロパンガス爆発を報じる新聞記事を読み「ガス漏れ警報器」の必要性を痛感した。それからというもの、ガスを検知する材料探しが始まった。果たせるかな雌伏6年、ついに酸化スズ(SnO₂)が濃度の低い可燃性ガスや還元性気体を検知することに最適な材料であることを突き止め、仲間とともに世界に先駆けて半導体センサ素子として商品化、ガス漏れ警報器に内蔵され日本はもとより海外まで広まった。

産学連携で飛躍

半導体ガスセンサ「TGS」(Taguchi Gas Sensor)のブランドは今日も世界の地位を保持し続けている。期せずしてほぼ同時期に九州大学の故・清山哲郎教授も開発、特許係争が持ち上がったが、そこは学術的に評価されたのも同然だと両人は和解。やがて清山教授は同社の顧問に就いた。

時は高度経済成長の時代で、技術も日進月歩であらゆる分野で軽薄短小の流れができていた。警報器メーカーからもたえず小型化、省電力化を求められた。こうしたユーザの要望に応えるためには、いつまでもベンチャー企業で甘んじるわけにはいかない。

幸い清山教授が化学会社のトクヤマの顧問で



もあった縁で、さらなる飛躍を目指してトクヤマの資本参加を求め、現在はトクヤマの100%株式所有で優良な連結企業に名を連ねている。天本社長はフィガロ生え抜きだが、それまではトクヤマ出身者が社長に就いていた。

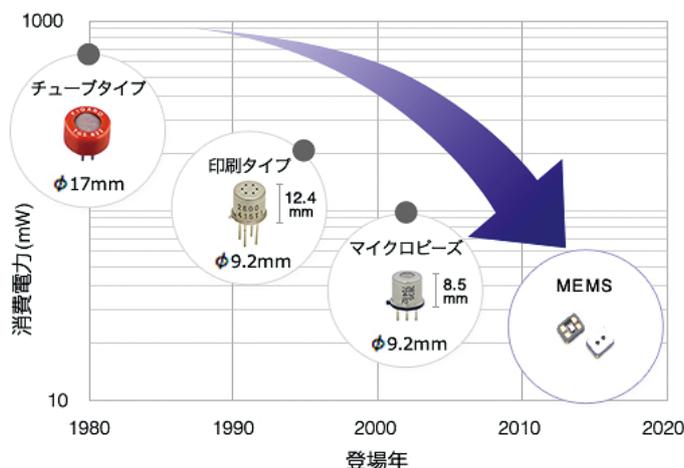
先進型グローバル企業

同社の業績は創業以来、ほぼ右肩上がりですべて推移、赤字決算は2、3回で理想的な展開をしている。つれて技術も進歩、創業期の手作りの半導体ガスセンサから自動生産が可能になった印刷型半導体ガスセンサへと飛躍、2000年代に入ると、ガスセンサのコンセプトが電池式の形態のものへとがらりと変わった。まず固体電解質型CO₂から主流になっている電気化学式COセンサ、さらに接触燃焼式ガスセンサなどが次々と開発された。そして創業の原点のセンサを微小で高性能・高機能の「MEMS」半導体ガスセンサまで進化させている。

1980(昭和55)年にアメリカ・シカゴに事務所を開設したのを皮切りに、ヨーロッパには販売とサポートを担う代理店網を敷き、さらに中国・天津、上海に工場を建設、今後中近東、ア

ジアへと広げていく。現在、売上の6割以上が海外向けである。

国内の景気や円安の追い風によって内外とも、とくに北米、ロシア、東欧で顕著な伸びを見せている。こうしたことから海外勤務の人材育成にも力を入れ英会話教室の授業料半額を会社が負担している。「社員が海外勤務を嫌がることはありません」(天本社長)という。



開発していくか」(天本社長)としている。それだけに大阪科学技術センターでの異業種交流、産学連携により10年先のテーマを見つけたいと期待をかける。



ユーザ・オン・デマンド

同社は警報器に内蔵する半導体素子を製造・販売し、最終ユーザに収めて製品化される。当然、競合他社も売り込む、また中国などは一段と格安の半導体素子を提供してくる。中国ではこれまで生産拠点であったが、徐々に販売拠点に切り替え、生産は国内回帰に向かうそうだ。

同社が厳しい競争に勝ち抜いているのは、ユーザの大手企業と良好な関係が築けていることで、ユーザからの新規の要望に「フィガロは何としてでも応えている」からだという。そして何よりの強みは自社で製造設備をつくることによって、技術のブラックボックス化を図り、ガスセンサ月産150万個以上の生産能力で高機能で高品質な製品を生み出し競合相手との差異化を図っているからだ。

用途も警報器、チェッカー(アルコール、口臭)、家電(空気清浄機、レンジ)、自動車、燃料電池など多方面に安全・安心さらに快適・健康機能を付加して広がりを見せている。ガス爆発や一酸化炭素中毒が減少傾向にあるのも、同社の使命が功を奏しているといえよう。

今後の課題として「次世代のセンサをいかに

〈トップのプロフィール〉

- ①生年月日：1954(昭和29)年9月20日
- ②最終学歴：1980(昭和55)年九州大学大学院総合科学研究科修了(故・清山哲郎教授の門下生)
- ③職歴：1980年石原産業(大阪)入社
1986年フィガロ技研入社
2010年社長就任
- ④趣味：旅行(海外)、英会話
- ⑤健康法：健康食

〈会社の概要〉

- 創業年月日：1969(昭和44)年10月18日
- 年商(決算期)：47億円(2014年3月期予想)
- 従業員数：90名(正社員)
- 所在地：〒562-8505
大阪府箕面市船場西1丁目5番11号
- 電話：072-728-2591
- FAX：072-728-2566
- HP：http://www.figaro.co.jp/
- E-mail：figaro@figaro.co.jp